

茨城森林管理署職員研修で 試験地の見学会を実施

平成29年5月31日、当センターで取り組んでいる技術開発課題「エリートツリーの挿し木品質化試験」箇所（城里町梅香沢国有林25か林小班）などで茨城署職員22名の参加で見学会を開催しました。
この場所では、前期課題から引き続き行っている“第二世代精英樹樹候補木”の成長状況の確認を行いました。



梅ヶ沢国有林25か林小班

第二世代精英樹樹候補木

その後、「経年変化を考慮したコンテナ苗の成長特性解明」試験地（梅香沢国有林25ろ林小班）に移動し、前期課題であった一貫作業システムの概要等説明を行いました。具体的には、高性能林業機械を活用した地拵や、コンテナ苗の春、夏、秋植の活着、成長状況についてです。参加者からは高性能林業機械で行う地拵に関する質問が多く、近年、特に普及に努めている一貫作業システム（伐採～造林技術）への関心の高さがうかがえました。また、低コスト造林の一環として取り組んでいる下刈り作業の見直しに関しては、その回数や実施の要否など、判断基準のを養うための造林技術の論議ができました。



コンテナ苗の説明



梅ヶ沢国有林25ろ林小班

